

## 第2回 石巻地区広域行政事務組合 新ごみ処理施設整備検討委員会 議事録

〔日時〕：令和6年7月31日（水）午前10時30分から午後0時00分まで

〔場所〕：大崎広域リサイクルセンター、大崎広域中央クリーンセンター

### 出席委員（12名）

依田 清胤	委員長	石巻専修大学 理工学部 生物科学科教授
八鍬 浩	副委員長	公益社団法人 全国都市清掃会議 技術部長
梶原 光弘	委員	宮城県東部保健福祉事務所 技術副所長兼環境衛生部長
高橋 誠志	委員	石巻市地域連携会議 会長
木村 美保子	委員	石巻商工会議所女性会 会長
伏見 不二雄	委員	石巻市廃棄物対策審議会 副会長
川村 久美	委員	石巻市環境審議会 副会長
吉木 妙子	委員	東松島市商工会 理事
阿部 求	委員	女川町行政区長会 会長
斉藤 雄浩	委員（代理）	石巻市 市民生活部 廃棄物対策課 課長
生井 浩二	委員（代理）	東松島市 市民生活部 市民生活課 課長
千葉 泰広	委員	女川町 町民生活課 課長

### 欠席委員（1名）

及川 輝明	委員	宮城県漁業協同組合矢本支所 運営委員長
-------	----	---------------------

### 事務局出席者 石巻地区広域行政事務組合（7名）

木村 芳正	事務局長
吉田 稔	事務局次長
鈴木 敏寿	施設管理課長
勝又 武志	施設管理課 技術主幹兼施設整備係長
武山 貴	施設管理課 主幹兼管理係長
秋保 祐二	施設管理課 技術主幹
武山 貴大	施設管理課 主任主事

### 新ごみ処理施設整備基本計画策定支援業務委託事業者

#### パシフィックコンサルタンツ株式会社（4名）

大木 雄介
安藤 智之
太田 望斗
立野 悠太

## 次 第

- 1 開会
- 2 開会のあいさつ  
石巻地区広域行政事務組合 新ごみ処理施設整備検討委員会委員長  
大崎地域広域行政事務組合 参事兼施設管理課長
- 3 施設概要説明
- 4 大崎広域リサイクルセンター視察
- 5 大崎広域中央クリーンセンター視察
- 6 質疑応答
- 7 閉会のあいさつ  
石巻地区広域行政事務組合 新ごみ処理施設整備検討委員会副委員長
- 8 閉会

### 【配布資料】

#### 次第

#### 参加者名簿

大崎広域リサイクルセンターパンフレット

大崎広域中央クリーンセンターパンフレット

## 1 開会

### 【大崎地域広域行政事務組合】

おはようございます。本日は大崎地域広域行政事務組合の施設へ視察においでいただきましてありがとうございます。視察の前に本日の資料につきまして確認願いたいと思います。まず本日の次第、次第の後ろに出席者名簿がついております。次に、本日視察するリサイクルセンターと中央クリーンセンターのパンフレットになります。

それでは日程について、説明させていただきたいと思います。本日はリサイクルセンターと中央クリーンセンターの2施設を短時間で説明させていただく都合上、出席者の紹介につきましては割愛させていただきまして、書面にて確認させていただきたいと思います。施設の視察につきましては、リサイクルセンターを視察した後にバスに乗りまして、中央クリーンセンターの方に移動していただきます。質疑応答につきましては、視察終了後に時間を設けておりますが、視察しながら聞きたいことがございましたら、担当職員が随行しますので、お尋ねしていただければと思います。

なお終了時間は12時を予定しておりますのでよろしくお願いいたします。

## 2 開会のあいさつ

### 【大崎地域広域行政事務組合】

それでは次第に沿いまして、開会の御挨拶をいただきます。まず石巻地区広域行政事務組合新ごみ処理施設整備検討委員会委員長からいただきます。よろしくお願いいたします。

**【委員長】**

本日は私達のために、お時間をいただきまして誠にありがとうございます。大崎広域中央クリーンセンターでは、様々な先進的な取組みをされていると伺っております。石巻広域圏のごみ処理を考える上で、それらの取組みは非常に参考になるかと思っておりますので、今日は是非色々と教えていただければと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

**【大崎地域広域行政事務組合】**

ありがとうございました。次に、大崎地域広域行政事務組合参事兼施設管理課長より御挨拶申し上げます。

**【大崎地域広域行政事務組合】**

皆様、改めましておはようございます。本日は大崎広域リサイクルセンター並びに中央クリーンセンターに御来訪いただきましてありがとうございます。

大崎地域広域行政事務組合は、大崎市、色麻町、加美町、涌谷町、美里町の1市4町が協同で設立した特別地方公共団体でございまして、業務内容につきましては、消防業務のほか、ごみ、し尿などの一般廃棄物処理と斎場業務、そのほかプラネタリウムを有する生涯学習センターや福祉型児童発達支援センターの管理運営など、複合的な共同処理事務を担っております。御覧いただく中央クリーンセンターにつきましては、令和5年10月に落成した施設になります。これまで安全で快適な生活環境づくりを目標にいたしまして、地域との関わりを大切にしながら整備運営に努めているところでございます。詳細な説明につきましては、後ほど担当の方から説明いたしますが、中央クリーンセンターの1番の特徴は、令和の時代にふさわしいエネルギー回収型のごみ焼却施設であることだと考えております。ごみ焼却時の排熱を利用して発電を行い、組合の3つの施設の電力を賄い、それ以外の余剰電力については売却することで、維持管理経費の削減を図っております。こちらの取組みにつきましては、SDGsの目標とされる持続可能なクリーンエネルギーの供給と、低炭素社会の実現に貢献できる施設になっているものと考えております。

本日は、当組合の取組みにつきまして、担当から説明をさせていただきました後に、2か所の施設を御覧いただく予定となっておりますけれども、皆様の新しいごみ焼却施設建設の一助となるよう努めさせていただきますので、どうぞよろしくお願いいたします。

### 3 施設概要説明

#### 【大崎地域広域行政事務組合】

資料を用いてリサイクルセンター及び中央クリーンセンターの概要を説明

### 4 大崎広域リサイクルセンター視察

大崎地域広域行政事務組合職員案内の下、大崎広域リサイクルセンターを視察

### 5 大崎中央クリーンセンター視察

大崎地域広域行政事務組合職員案内の下、大崎中央クリーンセンターを視察

### 6 質疑応答

#### 【委員】

大崎広域リサイクルセンター、大崎中央クリーンセンターを避難場所としてどのように活用するのかが一つと、草や木が今一緒に搬入されて混ぜて燃やしていますよね。施設を作る前の計画段階で、草や木の処理施設を分けて作るという発想はなかったのでしょうか。

#### 【大崎地域広域行政事務組合】

避難場所についてですが、リサイクルセンターの先ほどの研修室で120人ほどの住民が一時避難場所として利用できるという施設でございます。ただし、市の避難所としての登録はされていません。地元の方がもし利用したいというのであれば、すぐ開けられるというような体制をとっております。そこには、毛布等をストックしているわけではございません。それは、あくまで組織市町の方で対応するということでもあります。

次に、草木ですが、どこの自治体の焼却施設でも困っているのかなと思います。安定燃焼するためには、ある程度、木がいくらとか、草がいくらとか、生ごみがいくらとか等、ごみ質が定められておまして、大崎地域広域行政事務組合では、それぞれの施設によって草木の搬入量を決めさせていただいております。例えばこの施設ですと、1日に軽トラック4台まで、東部クリーンセンターですと、施設規模が小さいので3台ということに決めさせていただいております。施設維持管理している以上は、安定燃焼して公害を出さないというのが前提ですので、そのような運用としております。

#### 【委員】

草木を燃やさないで、別の処理をするという考えはなかったのでしょうか。

**【大崎地域広域行政事務組合】**

それは、ありませんでした。一つ補足させていただきます。この施設の発電は、バイオマス発電になります。そのため、草木がごみの中にどれくらい入っているかの割合によって、売電価格が変わります。そういったところも考慮して、草木は受入れるようにはしています。

**【委員】**

資源ごみのびん類は、全部カレットにするのですか。それともビールびん等の生びんは、そのまま資源化するということなのでしょう。

**【大崎地域広域行政事務組合】**

びん類は先ほど見てもらったとおり、4種類に分けて回収しております。茶びん、無色、その他、もう一つが今おっしゃられたように生びんです。生びんについては、回収後カレットにはしないでそのまま再生業者の方に売却をしています。

**【委員】**

売上金額は、年間でいくらぐらいですか。

**【大崎地域広域行政事務組合】**

令和5年度ですと、年間約30万円弱、月3万円弱ぐらいです。

**【委員】**

大型動物の死体とか入ってきたりする場合は、どういった処理をしているのでしょうか。

**【大崎地域広域行政事務組合】**

大型の動物ですと基本的にはそのままごみピットに入れまして、処理しています。駆除とか道路で亡くなっていたイノシシ等の野生動物ですが、ごみ焼却炉で処理しています。ペットについては、動物専用の火葬炉で対応しています。

**【委員】**

焼却炉の投入口に詰まる可能性がある、大きな動物はどのように処理されていますか。

**【大崎地域広域行政事務組合】**

当組合の施設ですと、焼却炉の投入口が大きいのでそのようなことはありませんが、東部クリーンセンターでは鹿を処理した際は、角が引っかかるため角だけ切ってもらおうということがありました。当組合では、鹿はあまりなく、イノシシが多いです。

**【委員】**

回収の段階で住民の方々の分別がどこまで徹底できるかというのが、その後の処理に大きく影響すると思うんですけど、特に広域でのごみ処理の場合、地域のそれぞれの住民の方に分別をできるだけ徹底していただくというのが必要だと思いますが、こうしたときの工夫であるとか、苦勞であるとか、もしございましたら御紹介いただければと思います。

**【大崎地域広域行政事務組合】**

合併して大崎市になる段階で、ごみの分別を統一してくださいということをお願いしたんですけども、なかなか大変なところもあり、分別の部分の管理は組織市町ということになりました。その後、収集が組合になったため、集める方と分別する方でルールが違う、そこが非常に難しいところですね。ですから、もしそういう分別を徹底するのであれば、まず組織市町で徹底していただく、例えば、施設で受入れるごみの大きさのルールも色々ありますので、施設規模算定するときに考えた方が良いのかなと思います。

**【委員】**

恐らく石巻広域圏でも十分予想されることかなと思いました。ありがとうございます。

7 閉会のあいさつ

**【大崎地域広域行政事務組合】**

閉会の挨拶を石巻地区広域行政事務組合新ごみ処理施設整備検討委員会副委員長からお願いいたします。

**【副委員長】**

今日は、最新の施設で新しい技術を見させていただき、本当にありがとうございます。当委員会として、このように勉強させていただいた内容を基に、より良いものを作って参りたいと思います。今日はどうもありがとうございました。

8 閉会